

要件事項	<p>&lt;航空／海上業務 共通&gt;</p> <p>パッケージソフトの OS チェック機能仕様変更</p>
機能概要	<p>&lt;変更前仕様&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パッケージソフトの OS チェック機能は、ある特定 OS のバージョン未満であるかのチェックのみ行っており、Windows 10 のサポート切れに対応できない。</li> <li>・サポート切れ前の警告メッセージの出力開始日を制御できない。（設定ファイルのリリース後から出力される）</li> </ul>
	<p>&lt;変更後仕様&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の OS ごとのパッケージソフト利用可否及び特定 OS 内のビルド番号（OS 内でのバージョン値）によるパッケージソフト利用可否を設定可能とする。</li> <li>・サポート切れ前の警告メッセージの出力開始日及び出力間隔を設定可能とする。また、警告メッセージの変更及びエラーメッセージの新規追加を行う。</li> </ul>

## 1. 変更内容

### (1) OS チェック機能の変更

#### (A) 個別 OS チェック機能の追加

OS バージョンごとにサポート期限（猶予日付）を設定可能とすることで、OS ごとにパッケージソフトの利用可否を指定可能とする。

#### (B) 特定 OS 内のビルド番号チェック機能の追加

特定の OS バージョン内にて、ビルド番号ごとにサポート期限（猶予日付）を設定可能とすることで、当該 OS におけるバージョンごとにパッケージソフトの利用可否を指定可能とする。

#### (C) 参照する設定ファイルの変更／新規追加

OS チェック機能が複雑になることを考慮し、使用する設定ファイルを変更する。具体的には、パッケージソフトの接続先情報等が設定されているシステム環境設定ファイルから除外し、OS チェック用の定義ファイルを新規追加する。なお、当該ファイルはセキュリティを考慮し、バイナリ化し直接変更できない形式とする。

### (2) 警告メッセージの出力制御の変更

#### (A) 警告メッセージの出力開始日及び出力間隔設定の追加

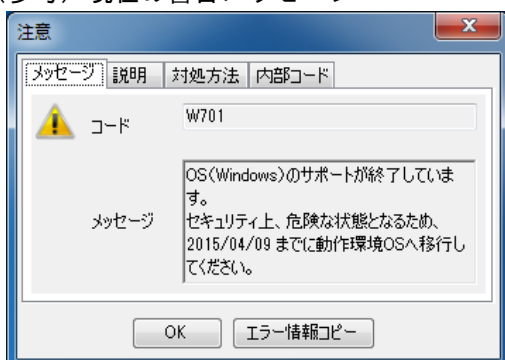
猶予日付を越えた場合に出力される警告メッセージについて、メッセージ出力を開始する日付を指定可能とする。また、前回出力から再出力しない日数を指定可能とする。

#### (B) 警告メッセージの変更及びエラーメッセージの新規追加

現在の警告メッセージは、マイクロソフト社によるサポート終了後以降に N A C C S にて設定したサポート期限（猶予日付）が存在することのみが想定された内容となっている。

そのため、サポート期限（猶予日付）前に出力される警告メッセージの変更、及び、サポート期限（猶予日付）を越えた場合に出力されるエラーメッセージの新規追加を行う。

#### (参考) 現在の警告メッセージ



2. 変更対象業務

- ・パッケージソフト

3. 特記事項

パッケージソフトのバージョンアップが必要。

4. リリース予定日／サービス開始予定日

平成30年12月20日（木）（利用者様が端末資材ダウンロード後に反映されます。）